



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月9日

上場会社名 株式会社エー・ピーカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3175 URL <http://www.apcompany.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(6435)8440
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,352	24.7	1,002	38.2	1,154	27.2	681	36.1
26年3月期第3四半期	11,508	37.6	725	19.7	907	36.3	501	27.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 663百万円 (32.8%) 26年3月期第3四半期 499百万円 (27.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	91.80	—
26年3月期第3四半期	67.47	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,187	3,210	28.5
26年3月期	9,695	2,519	25.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,192百万円 26年3月期 2,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,300	28.5	1,323	29.0	1,445	16.2	855	26.6	115.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	7,427,850株	26年3月期	7,427,850株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	185株	26年3月期	185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	7,427,665株	26年3月期3Q	7,427,712株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	8
(継続企業の前提に関する注記事項)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、企業収益の改善から賃上げの動きが見られるなど緩やかな景気回復基調にあるものの、物価の上昇に賃金の上昇が追いついていないことなどから消費環境の好転には至らず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の外食産業においては、高品質高価格への消費志向のシフトが見られるなか、原材料や人件費等の各種コストの上昇に加え、相次ぐ天候不良が客足に影響を及ぼすなど、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費税増税に伴う消費環境の変化が見込まれることに対応し、付加価値の高い商品の開発や販売におけるサービスの更なる強化に取り組んでまいりました。また、「日本の食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、優秀な人材の確保及び教育、生産地の開拓及び生産者との継続的な深い関わりによる商品力の強化、日本全国の大都市圏を中心とした新規出店を継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当社の連結業績は順調に推移しており、第3四半期連結累計期間における売上高は14,352百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益は1,002百万円（前年同期比38.2%増）、経常利益は1,154百万円（前年同期比27.2%増）、四半期純利益は681百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。

「塚田農場」ブランド店舗の店舗数増加により、地鶏の生産量の増加及び取扱い青果物の増加傾向が続いており、生産流通事業の売上高及び利益が順調に推移する要因となっております。このうち特に鹿児島県の地鶏の生産量の増加に対応するため、子会社の(株)カゴシマバンズによる地鶏の加工場が本格稼働を開始しております。

また鮮魚については、宮崎県の島野浦、岩手県陸前高田市の広田に次ぐ福井県的美浜エリアからの鮮魚の仕入が本格化し、鮮魚の取扱量及び魚種が大幅に増加しております。店舗数及び売上の増加に対応して鮮魚事業の強化に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,243百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は153百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

②販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、外食店舗及び中食店舗を運営しております。

当第3四半期連結累計期間の「塚田農場」ブランドの店舗を中心に既存店舗の売上が、前年同期比95.1%となりました。前年度の既存店売上高がテレビ放映効果で一時的な上ブレがあったこと、また、直近出店の中には既存店の売上適正化を図るために近隣に出店を行っているため客数が分散していることなどによるものです。全店の売上高前年比は122.6%となっており、当社グループ全体では順調に売上を増加させております。

また当四半期連結会計期間において「塚田農場」ブランド店舗を12店舗、「四十八漁場」ブランド店舗を2店舗出店致しました。店舗数は継続して増加しており、当期末時点で直営店舗数は152店舗となりました。出店を再開した「四十八漁場」ブランド店舗については、予想以

上の順調な立ち上がりとなっており、今後も継続的に出店をしていく計画です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は13,554百万円（前年同期比25.9%増）、セグメント利益は858百万円（前年同期比42.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は11,187百万円（前連結会計年度比1,492百万円の増加）となりました。これは主に新規出店及び店舗改装による有形固定資産の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,210百万円（前連結会計年度比690百万円の増加）となりました。これは主に四半期純利益681百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は28.5%（前連結会計年度比2.6ポイント増）となりました。これは主に四半期純利益681百万円より自己資本が増加したことと、借入による資金調達を抑制したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月13日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想につきましては、経営環境に大きな変化はなく順調に推移しており変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,827,806	3,903,338
売掛金	501,911	691,677
たな卸資産	434,062	608,061
繰延税金資産	133,977	134,211
その他	201,528	269,502
貸倒引当金	△4,609	△5,414
流動資産合計	5,094,677	5,601,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,201,669	4,427,285
減価償却累計額及び減損損失累計額	△894,958	△1,583,260
建物及び構築物(純額)	2,306,711	2,844,025
工具、器具及び備品	1,317,838	1,647,632
減価償却累計額及び減損損失累計額	△655,106	△921,216
工具、器具及び備品(純額)	662,732	726,415
リース資産	70,000	71,349
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,530	△70,170
リース資産(純額)	3,470	1,179
その他	306,740	407,313
減価償却累計額及び減損損失累計額	△116,976	△142,084
その他(純額)	189,764	265,228
有形固定資産合計	3,162,677	3,836,849
無形固定資産		
のれん	5,910	75,913
ソフトウェア	9,373	8,647
その他	1,625	1,538
無形固定資産合計	16,909	86,100
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
敷金及び保証金	1,180,265	1,431,180
長期貸付金	12,380	12,380
長期前払費用	114,744	115,340
繰延税金資産	61,628	61,628
その他	35,182	25,752
貸倒引当金	△3,399	△3,039
投資その他の資産合計	1,420,800	1,663,242
固定資産合計	4,600,388	5,586,192
資産合計	9,695,065	11,187,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	646,430	862,825
1年内償還予定の社債	257,000	237,000
1年内返済予定の長期借入金	1,012,803	1,153,962
リース債務	2,967	1,238
未払金	182,363	157,459
未払費用	696,240	832,798
未払法人税等	393,870	234,889
その他	318,732	497,767
流動負債合計	3,510,408	3,977,939
固定負債		
社債	541,500	443,000
長期借入金	2,891,392	3,322,988
リース債務	684	—
繰延税金負債	12,050	12,050
その他	219,138	221,535
固定負債合計	3,664,765	3,999,574
負債合計	7,175,174	7,977,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,517	495,517
資本剰余金	475,517	475,517
利益剰余金	1,546,086	2,227,922
自己株式	△287	△287
株主資本合計	2,516,833	3,198,670
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,033	△5,864
その他の包括利益累計額合計	△1,033	△5,864
新株予約権	2,806	2,806
少数株主持分	1,284	14,444
純資産合計	2,519,890	3,210,056
負債純資産合計	9,695,065	11,187,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	11,508,212	14,352,089
売上原価	3,570,946	4,350,195
売上総利益	7,937,265	10,001,893
販売費及び一般管理費	7,211,846	8,999,653
営業利益	725,419	1,002,240
営業外収益		
受取利息及び配当金	454	3,127
協賛金収入	133,743	160,087
受取補償金	39,900	—
補助金収入	42,460	15,769
その他	30,302	37,114
営業外収益合計	246,860	216,098
営業外費用		
支払利息	47,010	47,743
社債発行費	—	654
その他	17,978	15,521
営業外費用合計	64,988	63,919
経常利益	907,290	1,154,418
特別損失		
減損損失	7,089	23,686
特別損失合計	7,089	23,686
税金等調整前四半期純利益	900,200	1,130,731
法人税、住民税及び事業税	367,310	462,414
法人税等調整額	△98,496	△234
過年度法人税等	130,981	—
法人税等合計	399,796	462,179
少数株主損益調整前四半期純利益	500,404	668,551
少数株主損失(△)	△757	△13,284
四半期純利益	501,161	681,836

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	500,404	668,551
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△624	△4,831
その他の包括利益合計	△624	△4,831
四半期包括利益	499,779	663,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,536	677,005
少数株主に係る四半期包括利益	△757	△13,284

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記事項)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結財務 諸表計上額 (注)2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	759,443	10,748,768	11,508,212	—	11,508,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,147,707	15,300	1,163,007	△1,163,007	—
計	1,907,151	10,764,068	12,671,219	△1,163,007	11,508,212
セグメント利益	142,694	601,951	744,646	△19,227	725,419

(注)1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△738千円及びたな卸資産の調整額△18,488千円
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「販売事業」セグメントにおいて、売上の減少等により、当初想定しておりました収益の見込めなくなった一部の店舗について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、「販売事業」7,089千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (注) 2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	813,838	13,538,250	14,352,089	—	14,352,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,429,322	16,200	1,445,522	△1,445,522	—
計	2,243,160	13,554,450	15,797,611	△1,445,522	14,352,089
セグメント利益	153,217	858,970	1,012,187	△9,947	1,002,240

(注) 1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△7,169千円及びたな卸資産の調整額△2,777千円
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「販売事業」セグメントにおいて、売上の減少等により、当初想定しておりました収益の見込めなくなった一部の店舗について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、「販売事業」23,686千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

平成26年8月11日に、新鮮組フードサービス(株)の全株式を取得したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、77,173千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。